

改築、リフォームなど

尾鷲産材を使うと最大

5万円の助成金が

受け取れます



尾鷲市では、尾鷲市在住の方で10㎡以上の改築、
リフォームに、尾鷲市産の木材を利用した際
最大5万円の助成制度を実施しています。

気候風土に合い、癒やしの空間としても最適な
住まいへの尾鷲産木材利用にぜひご活用ください。



※50㎡以上の住宅を新築・増築する場合は、最大30万円の補助制度があります。詳しくは裏面下の連絡先にお問い合わせください。

尾鷲産材を使った改築、リフォームへの

助成制度について

- 対象者 尾鷲市在住の方
- 補助対象条件 (1) 尾鷲市内の住宅、店舗（居住部分のみ）
(2) 内装の面積 10 m²（約6畳）以上の改築・リフォームに尾鷲産材を使用
- 必須提出書類 尾鷲市の産材証明書 ※工務店や木材店などから発行してもらえます。
- 助成金額 1軒につき5万円を上限とし対象経費の2分の1以内
(例1) 尾鷲産木材の費用12万円の場合…助成金額50,000円
(例2) 尾鷲産木材の費用8万円の場合…助成金額40,000円

<改築・リフォーム施工例>



尾鷲産材について

日本農業遺産認定の尾鷲林業

尾鷲市は1624年（江戸時代）に全国で最初に人工造林が行われた地で、関東大震災では尾鷲ヒノキで建てられた家が倒れなかったことで評判となり、全国的なブランドとなりました。この土地ならではの地形や気候条件を活かし、苗木を密植し間伐を繰り返すことで、強度が高く、木目が美しいヒノキを生産する独自の技術が発達しました。この歴史ある独自の生産技術は、日本農業遺産に認定されています。

強度が高く美しい尾鷲ヒノキ

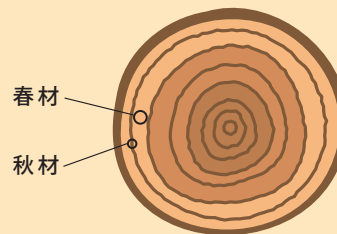
尾鷲ヒノキは、「年輪が緻密」であるのが特徴です。木の断面には、春から夏の温かい時期に成長した色の白い部分（春材）と、秋から冬の低温な時期に成長した色の濃い部分（秋材）が交互に重なり年輪となります。色の濃い部分はゆっくりと育つため、強度が高く、油脂分が多く、材に美しい光沢をもたらします。尾鷲ヒノキはこの色の濃い部分の幅が他より広いため、強度が高く美しいのが特徴です。

美しいふるさと尾鷲をみんなで守る

木を植え、木を育て、木を利用する林業は、温室効果ガスの吸収と、木材を利用することで、吸収した温室効果ガスを固定できる炭素固定において、環境に関するサステナビリティの基盤となります。木材を利用することは、温室効果ガスの削減を進めるのみならず、伝統産業を守ることにもなります。地元産材を活用し、美しいふるさと尾鷲をみんなで守っていきましょう！



密植多間伐⇒1haあたり3千～4千本を植林するのが通常ですが、尾鷲ヒノキは1haあたり1万本を植林します。



春材

秋材



尾鷲市では、22世紀に向けたサステナブルシティの実現に向けて「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。